2　未来を考えるために
「今」の港区を知る

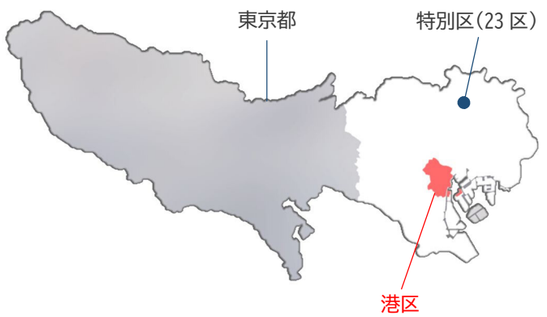
人や文化、水辺、緑、産業
港区ならではの魅力や強みを見つめ直し、
未来を考える手がかりを整理します。

港区　-Minato City

将来像の実現に向けた取組を考えるため、「今」の港区の姿について見ていきます。



地勢・人口



人口　270,507 人　　面積　20.36 ㎢

※令和 8(2026)年 10 月 1 日時点

港区は、東京都のほぼ南東部に位置し、東は東京湾に面する臨海部と内陸部をあわせ持つ地域です。

面積は 23 区中 12 番目の広さを有し、武蔵野台地と低地からなる起伏に富んだ地形により、坂の多いまち並みが形成されています。

人口は約 27 万人で、23 区中 17 位の規模となっています。



個性と魅力あふれる「5 つの地区」

港区は、「芝」「麻布」「赤坂」「高輪」「芝浦港南」の 5 つの地区ごとに、地域の特性を生かしたまちづくりを進めています。

各地区に総合支所を設置し、単に窓口で手続きを受け付けるだけでなく、地域の皆さんと一緒に地域課題の解決や魅力の向上に取り組んでいます。

デジタル技術の活用なども進め、サービスの質と効率性の向上を図るとともに、将来にわたって安心して利用できる持続可能な区役所づくりに取り組んでいます。



区役所改革の取組▶

データで見る「港区」

たくさんの人が働き、学びに訪れる

■昼夜間人口

昼間人口
972,673 人　都内 1 位

夜間人口
260,486 人

昼間人口は夜間人口の約 3.7 倍

※総務省「令和 2 年国勢調査」

多くの外国人が暮らし、国際性を身近に感じられる

■外国人人口

23,972 人

約 11 人に 1 人(約 8.9%)が外国人

※令和 8(2026)年 10 月 1 日時点

■大使館

80 か国/国内 156 か国　全国 1 位

※区内は令和 8(2026)年 10 月 1 日時点
※国内は令和 8(2026)年 3 月時点(外務省ホームページ)

訪れたくなる、にぎわいにあふれている

■飲食店数

飲食店営業施設数
15,938 店

※令和 7(2025)年 3 月 31 日時点(東京都保健医療局「食品衛生関係事業報告 令和 7 年版」)

■ホテル・旅館客室数

32,156 室　都内 1 位

※令和 7(2025)年 3 月 31 日時点(東京都「福祉・衛生統計年報　令和 6 年度」)

交通アクセスが便利で、島しょや日本全国につながる

■鉄道

18 路線 35 駅

■新幹線

品川駅－博多駅

※山陽新幹線方面へ直通運転の場合

■舟運

竹芝－伊豆諸島 小笠原諸島

子どもを生みやすく、育てやすい

■合計特殊出生率

1.18　23 区中 2 位

※令和 6(2024)年時点(東京都ホームページ)

■年少人口

35,982 人

総人口比 13.3%

※令和 8(2026)年 10 月 1 日時点

■待機児童

0 人

日本トップクラスの経済力を生み出している

■事業所数(民営)

41,049 事業所　都内 1 位

※令和 3(2021)年 6 月時点
※総務省「令和 3 年経済センサス-活動調査報告」

■企業の付加価値額

約 65 兆円　全国 1 位

※港区に所在する企業単位で集計
※総務省「令和 3 年経済センサス-活動調査報告」

震災時の帰宅困難者対策の強化が課題

■首都直下地震の被害想定

最大震度
7

死者数
127 人

帰宅困難者
53 万人以上　23 区中 2 番目

※都心南部直下地震　冬・夕方、風速 8m/s
※東京都「首都直下地震等による東京の被害想定」(令和 4(2022)年 5 月)を基に作成

都心の中でも緑が多い一方で、CO_2 排出量が高い

■緑被率

22.6%　23 区中 3 位

※令和 3(2021)年 6 月時点(「港区みどりの実態調査(第 10 次)報告書」(令和 4 年 3 月))
※順位は令和 8(2026)年 4 月 1 日時点

■CO_2 排出量

3,022 千 t-CO_2　都内 最多

※令和 5(2023)年度時点
※ECO ネット東京 62 ホームページ

多彩で魅力あふれる 5 つの地域

芝地区



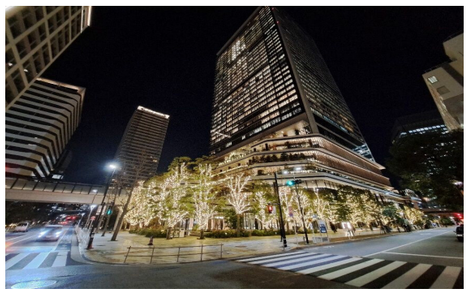
芝公園から見た景色

芝地区は江戸時代に東海道が整備されたことから発展し、今でも交通の要衝です。
多くの駅と鉄道網を有しており、商業地、飲食店街、ビジネス街としてにぎわいを見せています。



新橋駅西口広場

大通りの裏には古くからの街並みも残り、東京タワーや増上寺などの観光名所や、都立・港区立芝公園、旧芝離宮恩賜庭園といった豊かな緑も特徴的です。
海の玄関口である竹芝ふ頭もあります。
竹芝や虎ノ門などでは大規模な開発が進み、東京メトロ日比谷線に「虎ノ門ヒルズ駅」も開業しました。



東京ポートシティ竹芝

地域の人たちが描いた 2040 年代のまちの姿



芝会議

人と人とのつながりを大切にする心やすらげるまち
―誰からも愛されるまち―

子育て・教育・福祉
- 国際色豊かな文化と歴史の活用
- まちぐるみで子育てができる場づくり
- AI の利便性と直接人と触れ合うことの融合

防災
- 日常的な安全確保
- 大災害への備えとリスク認識

環境・街づくり
- シビックプライド
- 自然と調和、美しい街並み
- 誰にでもやさしいまちづくり
- ごみ問題とマナーの向上

コミュニティ
- 心やすらげるようなまち
- 人と人とのつながり
- 顔の見える関係づくり



芝地区ならではの取組

▸取組の詳細

芝　歴史・文化・交流アカデミー
～歩く・見る・学ぶ「芝」～

芝地区区民参画組織「芝会議」の「まちの魅力発掘部会」が芝地区の魅力を発掘・発信・創造しています。
部会メンバーによる「芝の語り部」がガイドする多彩なまち歩きツアーや歴史講座などを通じて、芝地区の歴史・文化、自然などの魅力を広く内外に発信しています。





区民協働による養蜂事業
芝 BeeBee’ｓ プロジェクト

区民協働によるミツバチの飼育をとおして環境について学ぶ機会を創出するとともに、多世代交流推進を目的とした養蜂事業です。
地域で飼育し採取したはちみつを特産品として販売。
新たな芝地区の魅力を発信しています。

麻布地区



麻布十番商店街

麻布地区は、坂の多いまちです。
かつては寺町や武家屋敷が建ち並んでいた地域で、昔の大名屋敷である港区立有栖川宮記念公園など、当時の面影が残されています。
国立新美術館など、歴史と文化、芸術資源が豊富です。

区内にある大使館の半数以上が麻布地区にあり、外資系企業が集まる国際都市の一面も持ちます。
閑静な住宅街のほか、地域に密着した工場、商業、繁華街など、多様な顔があります。
5 つの幹線道路が走り、東京メトロの「六本木駅」や「広尾駅」、「麻布十番駅」などの地下鉄網が形成されています。

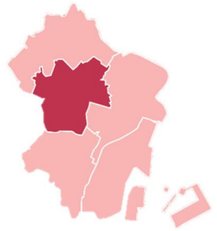


国立新美術館



六本木ヒルズ盆踊り

地域の人たちが描いた 2040 年代のまちの姿



区民参画組織「麻布カウンシル」

互いに助け合い、誰もが情報から取り残されない、安全・安心なコミュニティのまち

子育て・教育・福祉
- デジタルデバイド解消と多文化対応の強化
- 移動支援と公共交通の未来像
- 地域資源を生かした学びと特性ある文化の継承

防災・安全安心
- 既存団体間の連携強化と参加型活動の推進
- 災害時における正確な情報統制と拠点明確化

自然と都市の共生
- マナー向上と外国人対応を含む環境整備
- 住民自身が楽しみ、愛着を持てるアート、文化の活用
- ヒートアイランド対策と公共空間の快適性向上

コミュニティ
- 参加促進のためのインセンティブ設計と仕組みづくり
- 外国人住民向け包摂活動の展開
- 趣味やテーマを軸とした多世代交流の場の創出



麻布地区ならではの取組

▸取組の詳細

地域事業活性化プロジェクト

坂の名前や歴史をヒントに、坂をテーマにしたオリジナルカレーを開発する「麻布坂カレー」や、麻布地区の文化資源や魅力的な景観をモチーフにした「麻布街ガチャ」などをとおして、麻布地区の多様な情報を発信しています。





麻布地域の魅力伝承事業「あざぶら部」

麻布地区の歴史やまちの移り変わりを写真で保存・発信することや、歴史や文化などの魅力を次世代に語り伝えることで、区民などが地域に関心や愛着を持てるようになることを目的とした取組です。

赤坂地区



赤坂氷川祭

赤坂地域は、江戸以来多くの歴史上の人物や寺社に彩られ、明治以降は皇室施設や軍用地へと変遷を経ました。
江戸城の外堀であった溜池の埋立て後は料亭や商店が並ぶ華やかなまちとなり、利便性から人々が集住する地域へ発展しました。
青山地域は、江戸期に青山家の屋敷地として発展し、明治以降は霊園や軍・教育施設へと転用されました。



神宮外苑いちょう並木

現在は美術館やブランド店が並ぶ洗練された街並みの一方、閑静な住宅地など多様な特徴を持つ地域となっています。
戦後は、1964 年の東京オリンピック・パラリンピックにより、青山通りの拡張などの道路整備が進められ、戦後復興、高度経済成長を経て、街並みは大きな変化を遂げ、今では日本を支えるまちとなっています。



郡上おどり in 青山

地域の人たちが描いた 2040 年代のまちの姿



赤坂・青山地区タウンミーティング

誰もが住み続けたいと思える街
―緑の多い人にやさしい国際都市―

・広い年代で語り合い、未来を紡ぐ対話

・バリアフリーの推進と安全・
安心の街づくり

・赤坂、青山独自ブランド
創出と企業・地域の連携

・多様性に対応した防災・安全への配慮
・自助、“協”助、公助

・全員参加の子育て、教育、
将来の国際人を育む

・伝統とデジタルの共生

・支え合う福祉の充実
・個性を尊重し、ともに発展
・世代や国籍を問わない、
多様性を認め合うコミュニティの形成

・住み続けたいと思える街
・緑豊かで、アメンボが生息する自然共生型の街



赤坂地区ならではの取組

▸取組の詳細

子ども地域間交流事業
～離れていても心は１つ～

全国連携によるお互いのまちの発展と子どもの健全育成のため、岐阜県郡上市や和歌山県和歌山市との子どもを中心とした交流事業を実施しています。
異なる地域の歴史や文化、自然、産業に触れる機会を創出することで、豊かな感性や広い視野を育むとともに、地域間のつながりを深めています。





赤坂・青山でつながり隊

赤坂・青山地域で活動する町会・自治会などのつながりを深めるため、地域団体相互の交流を促進し、情報や活動の機会、地域資源を共有できる交流イベントを実施しています。
これにより、地域課題や取組への理解を深めるとともに、協力関係の構築や地域コミュニティの活性化を図っています。

高輪地区









高輪地区内のまつり

高輪地区は、西は渋谷区、南は品川区に隣接した位置にあります。
江戸の南の玄関口として、「高輪大木戸」が設けられ、現在も、国道 15 号(第一京浜)沿いに石垣の一部があり、当時の風情を伝えています。
国立科学博物館附属自然教育園など、今も武蔵野の貴重な自然が息づき、起伏に富んだ地形の中に、赤穂義士で有名な泉岳寺や三田の寺町など歴史的な街並みが残っています。
戸建住宅が多く、5 地区の中で人口が最も多い地区です。
JR 田町駅と品川駅間におよそ半世紀ぶりの新駅となる「高輪ゲートウェイ駅」が開業したほか、リニア中央新幹線の品川駅開業も計画され、さらなる飛躍と可能性を持ったエリアです。

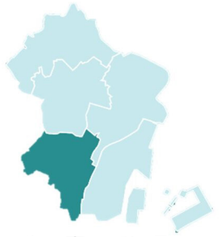


泉岳寺



TAKANAWA GATEWAY CITY

地域の人たちが描いた 2040 年代のまちの姿



タウンミーティング TAKANAWA2025

人・自然・歴史がつながり、学び・楽しさ・安心をはぐくむまち、高輪

全世代がつながり、歴史と未来が共存する高輪
- 寺子屋のような全世代交流
- 歴史を生かした未来づくり
- みんなが主役・みんながハッピー
- みんなで関わる長屋風の子育てや助け合い

みどりを楽しめる高輪
- みどりを守り育て、街を楽しむ
- 今と昔が調和し、変化に耐えうるまち

安全・安心な高輪
- みんながマナーやルールを守っている
- 双方向コミュニティ
- 幼児から高齢者まで安全に歩ける
- 日本人と外国人が安心して暮らせる



高輪地区ならではの取組

▸取組の詳細

町会・自治会・マンション交流活性化プロジェクト
～地域がつながる　たかな輪コミュニティ～

町会・自治会の担い手となる区民を育成する講座や、役員との顔合わせ、イベントへの担い手派遣を通じて、マンション居住者と地域活動が円滑につながる事業を実施しています。





私が語る高輪今昔物語

区民参画メンバーが高輪地区の過去や現在の写真をもとに「今昔物語」を作成し、出前講座やまち歩き、動画配信などにより、高輪地区の歴史的・文化的魅力を地域の内外に広く発信しています。

芝浦港南地区



お台場海浜公園

芝浦港南地区は、その大半が明治期以降の埋立てによりできた若いまちです。
大規模マンションの建設などにより、人口の増加が予測されている中で、イベントや地域活動などを通して新旧住民同士の交流が活発に行われています。

地区内を芝浦運河や高浜運河などが縦横に走り、その運河を、汐彩橋、御楯橋などの多数の橋りょうが結び、ライトアップを進めています。
レインボーブリッジの近くには、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の会場となった都立お台場海浜公園や東京アクアシンフォニーがあり、国内のみならず世界からたくさんの人が集まる地域です。



伝統文化交流館



御楯橋の橋梁ライトアップ

地域の人たちが描いた 2040 年代のまちの姿

港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト

思いやりが循環する、誰もが安心して暮らせる彩りと潤いあるまち ―水辺のホームタウンの実現―



子ども・高齢者
- 子どもたちの笑い声がひびくまち
- やさしさにあふれるまち
- 愛のある声かけ
- 高齢者がいきいきと輝けるまち

コミュニティ
- 井戸端会議ができる
- 地域愛にあふれる

まちづくり
- 昼夜問わず安全・安心・快適に歩ける
- My City Report や防災ラジオの活用
- 災害時の自助、共助の意識向上

水辺
- 多様な人が集まる
- にぎわいとくつろぎ
- 地域一体



芝浦港南地区ならではの取組

▸取組の詳細

みずまちプロデュース事業

区民との協働により、地域の魅力を一層高めるために、まち歩きなどのイベントを開催しています。
イベントを通じて、水辺の魅力を発見・体験することで、水辺への愛着と理解を深めます。





歴史と文化がつなぐ地域交流事業

秋田県にかほ市、福島県柳津町とのつながりを生かし、子どもたちをはじめとした住民同士がお互いの地域を訪れるなど、文化や歴史にふれる機会を提供しています。
互いの地域の魅力や歴史を理解し、相互の魅力を PR することにより、相互の地域発展をめざし、交流しています。